

岩中だより

小中一貫教育目標

「志高く、たくましく生き抜く『いわくにっ子』の育成

学校教育目標

「ふるさとに誇りをもち、未来を拓く『力と心』を身につけ、共にによりよく生きようとする生徒の育成」

令和元年度10月号

岩国市立岩国中学校発行

TEL 43-4400

FAX 43-3395

折り返し地点に立って

毎年夏休みを中心に多くの高等学校が体験入学を行います。今年度も多くの3年生が参加しています。体育祭、文化祭と大きな行事に一生懸命取り組む中で、3年生は自分の進路と向き合う時期でもあります。

しかし、自分の進路と向き合う機会は1年、2年でもあります。2年生は9月26日(木)、27日(金)に市内の各事業所で職場体験学習を実施しました。職場体験学習では、教員が全てをお膳立てして生徒は事業所に行くだけ...ではありません。事前打合せの電話連絡を生徒自身が自ら事業所を訪問します。職場体験学習当日も教員は様子を見に行くだけで、指導したり、手伝ったりはしません。自分たちで判断し行動する貴重な体験です。1年生は、3学期に職業講話でいろいろな職業に就いていらっしゃる方のお話を聞いて働くことの喜びや大変さを知ります。1年生、2年生の段階でそれらの学習を通して自分の適性や夢について考え、具体的に中学校卒業後の進路選択につなげていきます。

10月は1年間の折り返しとなる月です。3年生はもちろんですが、1、2年生もこの節目にこれまでの半年間を振り返り、これからの中学校生活、将来の目標や計画を立ててほしいと思います。

学校評価について

1学期末に学校評価を実施しました。保護者の皆様にはご協力ありがとうございました。昨年度3学期に実施しました評価結果と比較したところ、多くの項目で大きな変化はなく、80~90%以上の肯定的な回答を得るなどおおむね良好なご意見をいただいています。しかしながら、以下の項目のように、課題も明らかになりました。

○生徒自己評価

設問	年度	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定的回答	増減
計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。	H31	23.7%	36.0%	33.0%	7.1%	0.2%	59.7%	+4.6%
	R1	25.9%	38.5%	25.5%	9.9%	0.2%	64.4%	
毎日予習・復習をしている。	H31	15.2%	32.6%	35.6%	16.2%	0.4%	47.8%	+4.8%
	R1	16.3%	36.2%	32.5%	14.1%	0.9%	52.5%	

○保護者評価

設問	年度	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定的回答	増減
放課後や長期休業中など個に応じた取組を進めている。	H31	16.6%	38.1%	24.4%	4.4%	16.3%	0.3%	54.7%	+1.3%
	R1	18.8%	37.2%	20.3%	4.2%	19.4%	0.2%	55.9%	
自主学習ノートなど家庭学習の仕方をよく指導している。	H31	15.0%	44.7%	22.8%	7.8%	9.1%	0.6%	59.7%	+2.5%
	R1	19.4%	42.8%	19.0%	6.5%	12.1%	0.2%	62.2%	

いずれも肯定的な回答の割合が下がっているわけではありませんが、割合が50~60%台と低くなっています。「計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。」につきましては、テスト期間中はテスト計画を生徒が作成しています。テスト期間中以外につきましても、保護者評価で挙がっています「自主学習ノートの活用の仕方」も含めて、今後継続して工夫・指導していき、それが毎日の予習・復習につながればと思います。保護者評価の「放課後や長期休業中など個に応じた取組を進めている。」につきましては、現在テスト期間中に放課後2日間程度、夏休み期間中に3日間実施しております。夏休みの補習には学校運営協議会委員の方、小学校の先生方、卒業した高校生にも指導していただきました。今後も個に応じた取組を進めていき、生徒の学力向上に努めたいと思いますのでご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。また、地区懇談会で出たご意見もまとめて後日配付いたします。


各学力調査の結果について

各学年の学力調査の結果が8月までに揃い、それを元に夏休みの校内研修等を通して各学年の課題や取り組みについて協議しました。以下はそのまとめです。

3年生 全国学力学習状況調査(4月18(木)実施)

課題	年間を通じた取り組み
(国語) ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を伝える力に課題がある。 ・伝えたい事柄について、自分の考えと引用を区別して書く習慣が身につけていない。	(国語) ・授業の中で、読み取った情報を整理し伝え合ったり教え合ったりする場面を継続して設定する。 ・引用部分には「」を用いることを再確認し、資料を引用して自分の考えを書く活動を続ける。
(数学) ・記述問題では、数学用語を使った説明が苦手であり、自分の考えをもち、数学用語の意味を理解し、表現することが課題である。	(数学) ・授業で、数学用語を用いて自分の考えを話し合いや文章で表現する場面を積極的に取り入れる。
(英語) ・基本単語を正しく書く力と、英文を構成する動詞の使い方に課題が見られた。また、自分の意見をまとめた語数を使って書く問題に対する粘り強さが十分でない。	(英語) ・授業の中で教師ヒントや辞書を活用しながら、自分の意見を書かせる場面を意識的に仕組み、それを添削して生徒に返す作業を行う。その際、クラス全体にシェアリングするようにする。

2年生 やまぐち学習支援プログラム「4月確認問題」(4月18(木)実施)

課題	10月学力定着状況確認問題に向けた取り組み
(国語) ・言葉の意味を正しく理解し、活用することが難しい。また、必要な情報を的確に用いて文章を書くことに課題が見られる。	(国語) ・辞書を定期的に活用し、短文をつくり語彙力を向上させる。 ・また、授業の中でも必要な情報を集めて文章を作る学習活動を設定していく。
(数学) ・文字式を利用して、あることが正しいことを説明すること。 ・図形領域において、大きさを求めることや数学的用語を用いてあることがらを説明すること。	(数学) ・授業の中で積極的に話し合い活動を設定し、説明する力を向上させる。
	(社会) ・発問の工夫をすることで生徒が自分の考えをもち、学びを深められるようにする。
	(理科) ・授業の中で出てきた課題に対して、班で話し合い、解決する時間を設ける。 ・実験の結果から導き出される考察を、話し合いながら探求させる。
	(英語) ・機械的な練習に終始することなく、意味のある活動を取り入れ、生徒の活用力を高める。

1年生 やまぐち学習支援プログラム「4月確認問題」(4月18(木)実施)

課題	10月学力定着状況確認問題に向けた取り組み
(国語) ・問いの内容を正確に理解し、条件に合うように的確に表現することに課題がある。	(国語) ・授業の中で、作文学習やグループ学習を行い、自分の考えをもち、それを言葉や文章で表現できる力を身につけさせる。
(数学) ・問題の意図を理解して、正確に説明すること。 ・割合に関する問題。 ・小数や分数などの基礎的な計算。	(数学) ・授業の中で、キーワードを設定し、自分の言葉で説明を考えさせ、他人に説明する場面を設定する。 ・文字の計算や方程式は割合の問題を扱う場面でしっかり復習させる。 ・授業の中で小数や分数の問題を解く機会を意図的に設定する。

よろしくお祈いします

10月1日より、特別支援教育の支援員として岩国中に赴任いたします、向野 美佐子(むかひのみさこ)です。3月まで給食センターで給食を作っていました。元気ががんばりますので、よろしくお祈いいたします。

